

令和元年度 伊豆市商工会経営発達支援計画 事業評価表

経営発達支援計画検討委員会の開催 ・日時 令和2年2月27日(木)午後4時～5時 ・会場 伊豆市商工会 会議室 ・参加者 検討委員4名、事務局3名

項目	実施事業	事業内容	本年度 目標	実績 (4～1月)	実施状況、委員会コメント	評価
I 地域の 経済動向 調査	①小規模企業景気動向調査	対象:4地区 9業種18事業者を12ヶ月 調査方法:巡回及び窓口でのヒヤリング 内容:前年同月比「売上」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、業界の業況」の五項目 (調査件数)	864	480件	①職場内ネットワーク、推進会議にて職員間で情報共有した。巡回指導、経営計画策定に活用、小規模事業者へ窓口で情報提供した。 ②月1回、市内4地区の経済動向など情報を共有するため局長、支所長、経営指導員他指導事業実施職員による経営指導推進会議を開催した。 ③5月、8月に金融機関との連携会議を開催。その後必要に応じて支所担当支店と連携、情報交換を行った。経営計画セミナー受講者募集などの協力連携した。	B
	②経営指導推進会議の開催	・対象者 経営指導員他指導事業実施職員 ・頻度 毎月1回 ・活用方法 企業訪問隊で得られた情報や地区内概況の情報交換を行い職員間で情報共有を行う。(開催回数)	12	10回	コメント 連携が深まる傾向であればよいと思うが、深まっていないとしたら課題である。 コロナウイルスの流行による小規模事業者への影響など近々に連携会議を開催する必要があると思われる。	
	③経営発達連携会議の開催	・対象者 伊豆市商工会経営指導員、伊豆市役所、市内金融機関等 ・頻度 各金融機関ごとに各1回。その後必要に応じて随時開催する。 ・活用方法 地域の経済動向や各機関で把握している情報等の交換 (開催回数)	6	2回		
II 経営状況分析 ・ 需要動向調査	①巡回訪問	経営指導員等による巡回訪問	1,900	1275回	①経営指導員等による巡回を通じ、経営・税務・労働・金融・情報などの相談、指導を通じた経営改善事業を実施した。 ②巡回指導・窓口相談に始まり指導記帳機械化などのデータを活用し経営状況の分析を行い、事業計画の策定・実施、経営革新・事業承継・創業支援に繋げることができた。 ③伊豆地区の商工会が販路開拓強化事業として開催した。バイヤー、一般消費者881名よりアンケートを回収。その後、一般消費者から頂いた意見を各出展者にフィードバックして、新たな新商品開発の参考にしてもらった。	A
	②経営状況分析	・対象者 巡回指導、窓口相談等により経営指導推進会議に諮り選定された事業所 ・分析項目 イ、財務分析 ロ、経営分析 ハ、労務分析 ・提供方法 巡回訪問して、要支援先に分析結果と支援方法を報告する。希望する事業者には、専門家派遣等を有効活用して継続支援する。(分析件数)	40	45件		
	③トレードフェア 来場者アンケート	トレードフェアの来場者に対しアンケート調査を実施。9/8、9開催。(調査回数)	1	1回	コメント 昨今、地域の創業者や承継者への巡回を強化する必要があると思われる。 881件のアンケート回収数は多く評価したい。10年目の開催は評価する。新たな事業の展開に期待したい。	

項目	実施事業	事業内容	本年度 目標	実績 (4~1月)	実施状況、委員会コメント	評価
Ⅲ 事業計画 の策定 ・ 実施 ・ 経営革新 ・ 事業承継 ・ 創業支援	①経営計画策定支援者の掘りおこしとセミナー開催	経営計画作成セミナーの開催11/19。(開催回数) 開催案内を利用して計画作成とその実行が経営の発展に有効である旨啓蒙する。	1	1回	①経営計画作成セミナーを開催。経営計画策定をする前段階の分析手法を学んだ。参加人数は23人であった。 ②先端設備導入計画2件、持続化補助金申請14件、災害持続化補助金申請3件、経営力向上事業費補助金8件、経営革新2件、マル経資金9件、事業承継補助金2件。経営計画策定事業者に対し、その後2回計画通りに推移しているかを確認した。計画通りに推移していない事業者には専門家を派遣するなどフォローアップ強化を図った。 ③経営計画策定事業者を中心に、申請対象事業所の計画をブラッシュアップした。 ④窓口相談時を利用し事業承継アンケート調査を実施、対象者の拾出しを行った。プッシュ型支援事業を活用した事業承継相談8件。事業承継補助金申請2件。 ⑤11/13、11/16に伊豆市の創業セミナーの開催を支援した。創業個別相談窓口を開設し、よろず支援拠点と連携し創業相談を実施した。 コメント 年度目標を達成しており良いと思う。	A
	②経営計画の作成支援	セミナー開催や専門家を活用して策定を支援。(作成件数)	30	39件		
		フォローアップ	60	72件		
	③経営革新計画申請支援	計画をブラッシュアップして経営革新申請の支援を行う。(申請件数)	5	3件		
	④事業承継マッチング支援	引継支援センターと連携し事業承継支援(支援件数)	3	10件		
	⑤創業支援	伊豆市役所と連携して創業支援(支援件数)	3	6件		
Ⅳ 販路開拓 支援	①トレードフェア出展	バイヤーを招待して展示、商談の場を設ける。 9/7(土)開催。 効果的な商談のためのセミナーを開催する。 (出展件数)	15	11件	①販路開拓セミナー、出店説明会を実施した。今年度は当市がフェア開催会場となり昨年以上の出展があった。新規出展はその内4件。 ②類似の事業所紹介冊子が観光協会等他団体でも発行していることから商工会独自の発行は見送り、これらの冊子掲載の紹介を行った。 ③小規模事業者へサイト掲載募集するとともに、昨年度発行の「いづちの一押しCHOICE」掲載店舗に声掛けをして掲載件数の増加を図った。 ④県連が主催する商談会事業「静岡ごちそうマルシェ(西武池袋)」に2事業所が出展した。また出展後、専門家による事後指導も実施した。 アレモキッチン・コレモストアに4事業所の出展を斡旋した。 ⑤金融機関主催のビジネスマッチングが無くなり、出展者を斡旋する機会が無くなった。3月のFOODEXJAPANに1件斡旋した。 コメント 「いづちの一押しCHOICE」一層の活用が必要。単独発行から市の協力は得られないか。市の補助金を活用するなど、さらなる支援が必要と思われる。	B
	②逸品カタログ掲載	共同チラシ「いづちの一押し」の発行(掲載件数)	60	10件		
	③情報サイト掲載	商工会ホームページの会員紹介サイトに掲載(掲載件数)	100	87件		
	④アンテナショップ出展	全国連、県連のアンテナショップへ出展(出展件数)	5	6件		
	⑤ビジネスマッチング出展	金融機関と連携しビジネスマッチングに出展企業を募集。(出展件数)	2	1件		

項目	実施事業	事業内容	本年度 目標	実績 (4~1月)	実施状況、委員会コメント	評価
V 地域経済 活性化の 取組	①山海フェア	毎年12月に土肥地区で開催。(出店者数)	37	36件	①他団体(市役所、JA伊豆の国)との連携により地域商工観光業の活性化と市民の地産地消を目的に実施した。結果としては、年々来場者数が増加傾向にあり、地域の賑わい作りの一つとして定着してきた。来場者数概ね3,000人。 ②地元雇用創出のため伊豆総合高校進路ガイダンスにおける「企業ガイダンスブース」出展募集に協力し管内企業に周知。 市内関連企業6社が出展、会社案内等PRを行い地元就職機会の提供をした。	B
	②インターンシップ協力	地元企業を知っていただくため生徒の就業体験を受け入れ、雇用の創出につなげる。(協力企業数)	17	8社	コメント 土肥地区以外の地区においても活発なイベントを実施しており、合わせて評価したい。 人手不足が小規模事業者ほど困難な状況にあるので様々な方法を検討する必要がある。	
VI 支援力向上 の取組	①全職員による指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・県連合会等の主催する研修を受講させ研修内容の報告、資料回覧で知識を共有する。 ・事業所支援にチームで対応しOJTを進める。 ・職員勉強会の開催。 			<p>①県連主催の研修に若手を中心に積極的に参加した。研修内容は、資料を職員に回覧し全職員で知識を共有した。 中小企業大学校研修に1名が受講した。 OJTにより若手職員に持続化補助金申請からフォローアップ、実績報告までの一連の支援を習得させた。</p> <p>コメント 若手職員を中心とした積極的な取り組みは評価したい。</p>	A

※評価基準

- A: 目標を達成することができた
- B: 目標を概ね達成することができた
- C: 目標を半分程度しか達成できなかった
- D: 目標をほとんど達成できなかった